

常警文藝

私の川柳

ノートから

新妻 新坊

二次會を當てし出席するのなり  
看守の子理想を聞けば看守長  
效會を出て二人手を握り  
飲みきれぬビールを魔法饅に詰め  
借りる氣で来たに日本不在なり  
始球式市長十年若くなり  
課長には叱られ給仕に馬鹿にされ  
盗をさすに藝者の年を開き  
又やつたなと仲人は眉を寄せ  
辯護士も列座をこける善後策

内科。胃腸科。婦人科  
十二指腸虫病科  
花柳病科。X光線科  
松村病院  
平町南町電話一〇七番

内科。外科。耳鼻  
咽喉科。花柳病科  
高久病院  
平町南町電話五一三番

内科。外科。花柳病科  
耳鼻咽喉科。婦人科  
赤心堂病院  
平町南町電話四七五番

御用意は?

お寒さが加はります  
毎朝霜が真白に降りる様になり誠に寒くなりました  
お寒さの御用意として先づ暖で丈夫なラシヤ毛織類が一番です  
なかやにはオーバ、トンビ、大小學生マント、東コト、モナリ、等所謂防寒具が最も安價に、最も豊富に揃つて居ます、何卒御用命の程を。

なかや洋服店

平町二丁目  
(電話二〇三番)

建築ペンキ塗  
美術諸看板  
硝子金銀文字  
其他各種  
大音堂  
平町四丁目

看護婦派出所

の求めに應ず  
平町南町  
看護婦會  
電話三〇七番

開設

大村や

郡役所横通

旅大村屋

平町二丁目  
電話一七五番

仕立入念絶対保温力  
ある毛メリヤス  
オーバセーター類  
シヨール肩掛・膝掛  
毛布・其他洋品雜貨  
貴金屬 屬 式  
價格勉強。新柄豊富

大谷時計店  
洋品部

平町三丁目  
電話一八九番

高 等 西洋料理 御料理仕出し  
カキフライ  
カキ鍋品々  
一の井  
仲田町(電話一六七番)

集募員店

でま才七十りよ才四十

眞面目な商人を養成仕るべく  
萬事家族的の待遇に候へば御希望の向きに依り  
御本人の 給料、積立、に  
付き御面談申上度く是非  
御申込み願上候  
尙ほ目下在學中に候へし場合は  
雇入方を豫約致し置くも差支へ  
無之候

平町鍛冶町(電話二二二番)  
吉田屋呉服店  
吉田由三郎

新設 電話 七〇番

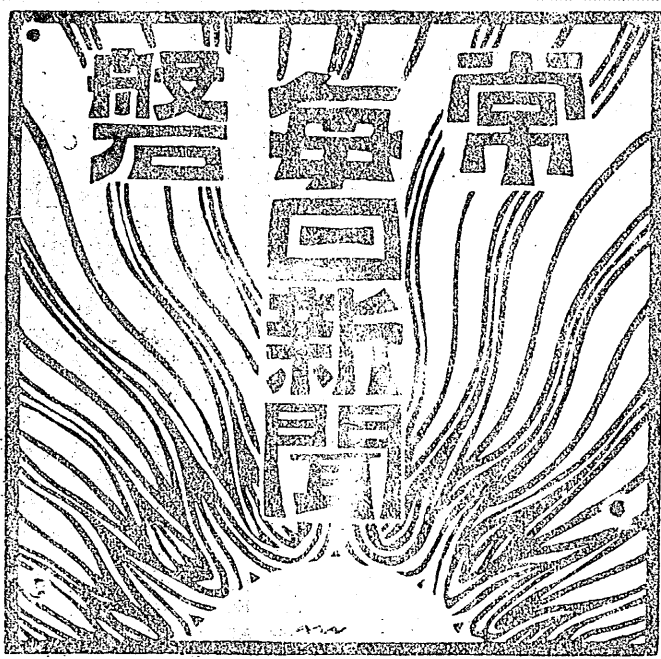
耳鼻咽喉科専門  
大和田醫院  
平町南町  
入院應需 自炊ノ便アリ

株式賣買中値  
電話に金融致し

銘柄	拂込	時價
磐城銀行	五〇〇	五三〇
平銀行	五〇〇	六八〇
磐越銀行	一一五	一〇五
磐城實業	五〇〇	四二〇
磐城實新	三〇〇	二八〇
田村實銀	一一五	一一五
四倉銀行	一七五	一七五
農工銀行	二〇〇	二五〇
同 新	一五〇	一九〇
百七銀行	五〇〇	五五〇
同 新	一一五	一六〇
七七銀行	一一五	九八
郡山電氣	五〇〇	四三五
同 新	二五〇	一九五
只見川電	一一五	七五
植田水電	一一五	一五五
好間水電	一一五	一三〇
磐城建物	一一五	六〇〇
磐城製菓	二〇〇	二五〇
平信託	五〇〇	二五〇
磐城勸業	一一五	一三五
植田物産	三〇〇	二六〇
平製氷	二五〇	一八〇
好間軌道	五〇〇	三〇〇
入山新	三三五	一七〇
小田炭礦	二五〇	一〇
磐城炭礦	五〇〇	四二〇
同 新	二二五	一八〇
磐城セメン	五〇〇	六五〇
同 新	三五〇	四四〇
平運送	一一五	八〇

丸登株式店

平町田町 電話三三三番  
川添房二郎



發行兼編輯人 川崎文治  
印刷所 福島縣石城郡平町鍛冶町十一番地  
常盤毎日新聞社

定 額 一 部 金 貳 錢 廣 告 五 錢 十 二 行 刊 休 日 曜 大 祭 福 島 縣 石 城 郡 平 町 鍛 冶 町 十 一 番 地 印 刷 所 本 社 東 陽 報 社

刊 夕 日 五 廿 月 一 十

隨筆  
物をより以上に  
有効に働かせよ

承前  
長橋野人

宣傳は實行を促す力があつて本質がある、然し過去に於ては或る場所には單に力を抜いて宣傳のみが繰り返されたもの、觀があつて一時的の流行として看做されてゐたことは等閑にするを得ない、これ等は所謂其の手段方法なるものが餘りに當を得ない外れに基因するものではないか

今日の社會生活からして、眞の意義ある勤儉は焦眉の急務を要するが而し其の徹底を期さんには根本から改めて人間生活に眞に當てはまるものでなければならぬ

尙ほ儉約にしても單に物を節するに依つてのみは何等意義を爲さない、所謂物を節するのではなく物をより以上に有効に費消する動的原因に依りてのみ達成されるものではないか

何れにしても今日の節約などは皮相の觀がある、勤儉の可能は我が社會状態に於

ては生活様式の根本的創造の結果に俟たなければ効果のあり得る由がない

所謂學問の生活化に基因する我國に、特質の生活様式創造は之等を最も速に解決する

大部分である家屋の創造二重生活の徹底を根本とし尙ほ社會組織の缺陷たる遊惰を峻る原因の除去は可能方法ではないかと思ふのである  
完結



### お茶の水師範の 女生徒が愛人と共に 遠い鐵路を東北へ

#### 搜索に疲れた淋しい兄の姿

恰も修道院の尼僧のやうな生活の中に唯ひたすら若き日に過ちなかれと精進の途をいそしむ東京お茶の水女子高等師範學校の寄宿舎にも燃ゆる青春の血に身をこがして

#### 自由な

天地に翼を伸さんと籠の中を抜け出す戀の小鳥もある……昨夜八時頃身なりいやとからぬ一名の紳士が平署の受付口を訪れた、そして其の口から洩らされた事に依るこの紳士の妹水島花子(三三)假令は郷里茨城縣下館町高等女學校を卒業してからお茶の水女子高等師範學校に入學し其の

#### 汽車に

ゆられつゝ平町に到着して搜索の限りを盡し探さぬやうに平署の門をくぐつたのである、宿帳其他に依つて調べてもそれらしい男女は見當らなかつた紳士は沈んだ面持ちに淋しい笑を殘して平署を辭去つた、社會の嚴重な監視を免れて解放された戀の天地に、自分達の命を見出さうとする二人の若い男女に、果して幸福な運命が齎されたかどうか

#### 天地に

自分達の命を見出さうとする二人の若い男女に、果して幸福な運命が齎されたかどうか

#### 映畫を撮影

#### 各町村を巡回

石城郡として最初の試みである養蠶普及の活動寫真會は同郡養蠶同業組合主催となり左記日割を以つて各町

村を巡視する事に決定した。が映畫は本縣蠶糸支會所蔵のものであると

十二月九日下小川村、十日大浦村、十一日草野村、十二日夏井村、十三日植田町、十四日錦村

#### 平地方在郷軍人の活動振り

#### 心強い感がある

#### 田中陸軍大將語る

帝國在郷軍人會副會長陸軍大將田中義一氏は既記の如く平劇場にて在郷軍人、青年團のために講演をなす。十四日午前六時十五分發列車で岩手縣水澤町に向け出發したが往訪の記者に語る

#### 心中酌婦の死

肺病む青年と情死を圖つて猫イラズを嚙んだ平町南町飲食店都亭の酌婦置杉繁子は松村病院にて加療中昨夜六時頃死亡し主家都亭にては懇ろに供養を營んだ

#### 湯本驛のクビ吊り男

年令四十歳位

廿四日石城郡湯本驛附近にて年令四十歳位の男が縊死して居たのを驛員が発見平署から大槻部長檢視に出張した

#### 捲き込まれ

#### 足と腕を轢断

平驛制動手早川喜太郎(四一)は本日午前十一時廿分頃平驛構内にて下り貨物九十一號機關車に捲き込まれ左足や右腕を轢断し頭部に裂傷を負ふて生命危篤

#### 信夫小僧

#### 懲役十年に

信夫郡坂庭村生れ信夫小僧事前科廿二犯佐藤末次郎



家庭欄

#### 里イモの効能

里イモはまたシモヤケにも用ゐられてゐます、里イモを黒焼きにし、ゴマ油でどき局部にぬりつけますクル

#### 磐銀樓上にて 保險料 協議

#### 各代理店參集

各火災保險會社聯盟協約の下に平町に對する保險料金の値上を爲すことに決定せらるは既報の如くであるが改定料率實施方法に關し平町左記各代理店は昨二十四日午後一時より磐城銀行樓上に協議會を開き種々協議打合せする處あつた

- 出席代理店東神(大谷久藏氏)東京横濱(磐城銀行)大阪海上(草野源三郎氏)千代田平(磐越兩銀行)大北和(田村宗氏)大平(森本盛一江口忠一兩氏)福壽(井上貞次郎氏)帝國(鈴木)

#### 簡便な機關

#### 東京恒産の迷惑

平町郡役所通り東京恒産合資會社磐城支店は支店長黒川隆廣氏其他社員極力奔走の結果益々業務進展し支店開設以來加入者に對して貸し付けたる金額三千三百九十四圓に達し地方に於ける簡便なる金融機關として一

#### 收入役の認可

石城郡草野村收入役大場鶴次郎氏は認可申請中の處廿五日附認可された

#### 小泉樓の

#### 妓夫金を

平町鎌田遊廓小泉樓方妓夫山形縣生れ阿部七之助(三三)は主人の金品數十圓を提出し去る二十四日午前四時頃何れへか逃走したと

#### 募集

文藝其他投稿を募集します

#### 募

文藝其他投稿を募集します

#### 募

文藝其他投稿を募集します

#### 募

文藝其他投稿を募集します

#### 近く退官する

#### 持館氏語る

仙臺稅務監督局管内奥羽六縣五十一稅務署の署長中で最古參で高等官四等四級にまで陞りつめた平稅務署長持館俊造氏は今度の行政整理で近く退官するであらうといはれてゐるが同氏は「稅務署に在任すること三十

#### 平町海軍入團

平町より海軍兵として來月一日

#### 平町人事

- △村木町 佐々木次郎(四七)
- △新川町 箱崎利子(二二)
- △立町 鈴木力彌(二〇)